

事務事業名	シティセールス事業			事業コード	02010132101
所管部署	シティセールス推進室	電話	0776-50-2082	記入者名	松本 隆
事業対象					
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	本市の魅力を市内外に発信する事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市の魅力や地域資源などを戦略的に広く市内外に情報発信することにより、市のイメージや知名度の向上及び地域参画総量の増加を図り、市外の人や企業から選ばれるまちを目指します。				
	人口減少問題や少子高齢化が進む中、将来にわたり持続ある市の発展を目指し、交流人口及び定住人口の増加を最終目標に、まずは本市の認知度の向上及び市民の地域参画総量の増加を図るため、市の魅力を発掘・創出し、関連企業等との連携の下、地元から、首都圏から、そして各地方からその魅力を市内外に戦略的、効果的に発信いたします。				
事業の目的・事業の概要等	<p>事業概要</p> <p>①FD開設・運営②三国港フェア③首都圏の297飲食店への甘えび販売④越前織ストラップコンテスト⑤一筆啓上PRツアー⑥現存12天守同盟⑦花あかり販売PR⑧品川区連携(品川水族館、戸越銀座商店街)⑨えちぜん鉄道連携事業⑩情報番組誘致による情報発信を実施した。</p>				

すぐに行ける改善提案	1. 地域資源の発掘、並びにイノベーション(時代やターゲットにあわせた付加価値づくり) 2. 戦略PRによる情報発信量の最大化
目標年度 平成28 年度	
取組状況	坂井市の持つ地域資源(産業、文化、生活環境等)を時代やターゲットにあわせた付加価値を付けた上で、市内外へ戦略的に発信する取り組みをスタートしています。
中長期的に取り組むべき改善提案	シティプロモーションサイクルの確立(1. 地域資源の発掘・イノベーションと戦略PRによる情報発信⇒2. 対外的な認知度やイメージの向上⇒3. シビックプライドの醸成、企業や生産者のビジネス意欲の向上⇒4. 市民活動等による地域の魅力向上や市民からの魅力発信の活性化、企業による新ビジネス⇒2.に戻る。
目標年度 平成31 年度	
取組状況	地域資源に加え、「総合戦略」によって高まる地域の魅力を戦略的に発信するフレームを策定し、サイクルの確立のための事業をスタートしています。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	25,656千円	3,780千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	1,638千円	431千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	1,002千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,185千円	557千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	30,481千円	4,768千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	3.00人	21,327千円	3.00人	21,084千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	3.00人	21,327千円	3.00人	21,084千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	51,808千円	25,852千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	13,570千円	千円	千円	千円	千円	千円		
国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		12,955千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	25,283千円	25,852千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	51,808千円	25,852千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	シティプロモーションサイクルが確立し、地域の情報発信力や稼ぐ力が生まれるよう事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	現状とは産官学金連携を指します。地域や企業などの団体、広域レベルの自治体との連携を広げながら推進します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	総額では現状を維持しますが、一人当たりに対する伝達コストや情報強度に関しては、各種連携や戦略PRによって削減を図ります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成31	年度を目安
判断事由	連携、協働を軌道に乗せ、人員を維持しながら事業の拡大を図ります。			
すぐに行ける改善提案	1. 地域資源の発掘、並びにイノベーション(時代やターゲットにあわせた付加価値づくり) 2. 戦略PRによる情報発信の強化			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	シティプロモーションサイクルの確立(1. 地域資源の発掘並びにイノベーションと戦略PRによる情報発信⇒2. 対外的な認知度やイメージの向上⇒3. シビックプライドの醸成、企業のビジネス意欲の向上⇒4. 市民活動による地域の魅力向上や市民からの発信力強化、企業の新ビジネスや新規参入⇒2に戻る。			
目標年度 平成31 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	件	目標値	100	達成率	100	達成率	達成率
		実績値	137	137	77	77	
成果	位	目標値	500	達成率	500	達成率	達成率
		実績値	892	56.1	958	52.2	
活動	件	目標値	9	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値	9	100			
活動		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値					
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値					
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値					